

お客様各位

富士通エフ・オー・エム株式会社

「基本情報技術者試験 平成28年度春期試験」の出題傾向分析について

日頃は、FOM出版をご愛顧いただきまして、誠にありがとうございます。

先般、4月17日(日)に実施された「基本情報技術者試験 平成28年度春期試験」の出題傾向を分析しましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

記

1. 午前問題の出題傾向

今回の春期試験の「カテゴリ別」「問題形式別」の出題傾向は、次のとおりです。

※参考までに直近2回分(平成27年度春期試験、平成27年度秋期試験)の数値も記載しています。

●カテゴリ別

カテゴリ	大分類	H27 春 出題数	H27 秋 出題数	H28 春 出題数
テクノロジー系	基礎理論	8 問	9 問	10 問
	コンピュータシステム	15 問	14 問	14 問
	技術要素	23 問	22 問	21 問
	開発技術	5 問	5 問	5 問
	小計	51 問	50 問	50 問
マネジメント系	プロジェクトマネジメント	3 問	4 問	4 問
	サービスマネジメント	7 問	6 問	7 問
	小計	10 問	10 問	11 問
ストラテジ系	システム戦略	4 問	5 問	5 問
	経営戦略	9 問	9 問	8 問
	企業と法務	6 問	6 問	6 問
	小計	19 問	20 問	19 問
	全合計	80 問	80 問	80 問

●問題形式別

テキスト内の解説の有無	H27 春 出題数	H27 秋 出題数	H28 春 出題数
用語(用語の説明や関連する用語を選択する問題)	26 問 (32%)	32 問 (40%)	36 問 (45%)
事例(具体的な事例に基づいて解答する問題)	41 問 (51%)	31 問 (39%)	32 問 (40%)
計算(数値や計算式を求める問題)	11 問 (14%)	15 問 (18%)	9 問 (11%)
データベース(データベース設計の知識が問われる問題)	2 問 (3%)	2 問 (3%)	3 問 (4%)
合計	80 問 (100%)	80 問 (100%)	80 問 (100%)

※なお、問題の分析はあくまでも当社独自の判断によるものです。

2. 午後問題の出題テーマ

今回の春期試験の午後問題で出題された取り扱いテーマは、次のとおりです。

午後試験の分野		選択/必須	H27 秋 出題テーマ
情報セキュリティ		必須	Web サーバに対する不正侵入とその対策
コンピュータシステム	ハードウェア	6 問中 4 問選択	(出題なし)
	ソフトウェア		リスト構造で管理されているセルとガーベジコレクタ
	データベース		遊園地の入園者情報を管理する関係データベース
	ネットワーク		イーサネットを介した通信
ソフトウェア設計			スマートフォンを用いた店舗検索システム
マネジメント	プロジェクトマネジメント		ソフトウェアパッケージ導入時の調達先選定
	サービスマネジメント		(出題なし)
ストラテジ	システム戦略		販売データの分析
	経営戦略・企業と法務		(出題なし)
データ構造及びアルゴリズム		必須	簡易メモ帳のメモリ管理
ソフトウェア開発	C	5 問中 1 問選択	フラクタル図形の描画
	COBOL		福利厚生施設の宿泊予約管理
	Java		“すべきこと”の管理
	アセンブラ		10,000m 競争のチーム別順位の表示
	表計算		販売分析

3. 問題分析

今回の春期試験は、午前問題・午後問題ともに、例年並みの標準的な難易度でした。
平成 22 年度以降、難易度はほぼ安定した状態が続いています。

【午前問題】

シラバス全体から幅広く出題される傾向、過去問題からの流用が多い傾向は、これまでと同様です。難易度は標準的といえます。今回は「テクノロジー系」から 50 問、「マネジメント系」から 11 問、「ストラテジ系」から 19 問が出題されました。

今回も「技術要素」の「セキュリティ」(中分類)からの出題が 10 問と、中分類項目の中でも最も多く出題され、そのうちの 5 問が新試験である情報セキュリティマネジメント試験の午前問題と同じものでした。「スパイウェア」「SQL インジェクション」「BYOD」「WAF」「SEO ポイズニング」など用語に関する出題や、「磁気ディスクの廃棄方法」「利用者認証」「SaaS 利用時のセキュリティ管理」など事例に関する出題がありました。今後もセキュリティについては、全問題中の構成比として約 1 割の問題数を占めるので、重点的に学習する必要があります。

シラバスに記載されていない内容として「IoT」「パイプ (UNIX の標準出力)」「ミッションクリティカルシステム」「EMS」「SEO ポイズニング」が新しい問題として出題されています。

【午後問題】

全体を通して、標準的な難易度でした。

選択問題では、「ハードウェア」「サービスマネジメント」「経営戦略・企業と法務」に関しての出題がありませんでした。全体的な難易度については例年並みといえますが、選択する問題によっては難易度の受けとめ方にばらつきがあると思われます。

必須問題である「情報セキュリティ」では、不正侵入と対策をテーマに、公開鍵暗号方式 (秘密鍵と公開鍵)、FW での通信遮断、パスワード桁数の強度比較といったセキュリティの主要な技術を問う問題が含まれており、知識があ

れば解きやすい問題でした。

「表計算」では、商品の販売分析をテーマに、主要な関数である IF 関数、条件付合計、表引き、水平照合関数など多くの関数を利用した問題が出題されました。巻末の「表計算ソフトの機能・用語」の「6.関数」に関数の使い方が毎回掲載されるので、これを参照しながら解けるように学習しておく必要があります。

4. 試験動向

新試験に移行した平成 21 年度(2009 年度)以降、応募者は減少傾向になっていましたが、近年は下げ止まりの様子となっています。

年度	春期	秋期	年間
平成 21 年度	90,752 名	107,800 名	198,552 名
平成 22 年度	92,108 名	100,113 名	192,221 名
平成 23 年度	88,001 名	82,090 名	170,091 名
平成 24 年度	75,085 名	79,674 名	154,759 名
平成 25 年度	66,667 名	76,020 名	142,687 名
平成 25 年度	65,141 名	74,577 名	139,718 名
平成 27 年度	65,547 名	73,221 名	138,791 名
平成 28 年度	64,904 名	—	64,904 名 (上期計)

5. 今後の教材ラインナップと提供予定

当社の「基本情報技術者試験」教材のラインナップ(発売中)は、次のとおりです。

No.	教材名	型番 価格	説明
1	基本情報技術者試験 対策テキスト 平成 27-28 年度版	FPT1423 2,200 円 (税抜)	シラバス(Ver3.0)にそって必要な知識を解説する教科書兼参考書。プログラム言語は「表計算」の解説のみ収録しています。 ※プログラム言語「C」「COBOL」「Java」「アセンブラ」の解説は収録していませんので、ご注意ください。
2	基本情報技術者試験 直前対策 2 週間完全プログラム シラバス Ver3.0 準拠	FPT1424 1,500 円 (税抜)	シラバス(Ver3.0)に記載されている用語の中から出題傾向の高い用語を抜粋して解説した用語集。暗記に役立つ「カラーフィルム付き」。 ※プログラム言語「C」「COBOL」「Java」「アセンブラ」「表計算」の解説は収録していませんので、ご注意ください。

以上